

・本様式中、破線枠内は書類作成上の注意事項であり、実際の申請書類には記載しないこと。

様式1

若手外国人農林水産研究者表彰 申請書

1. 受賞候補者

氏名 生年月日・年齢 性別・国籍 所属 職名 現住所 E-Mail TEL		最近6か月以内撮影した写真を貼付 (30mm x 40mm)
--	--	-----------------------------------

・年齢は、表彰年の1月1日現在の満年齢。

2. 推薦研究機関

機関名 代表者氏名		
所在地等	TEL :	
推薦事務担当者 所属・氏名 連絡先	TEL : E-Mail :	FAX :

・「推薦事務担当者」欄については、確実に連絡のとれる者を記載すること（複数名記載可）。

3. 業績名

例：〇〇分野における〇〇の研究とその展開

・業績名は、応募対象とする業績の内容を的確に表すものを記載すること。

4. 業績概要

--

・応募対象とする業績について、400語から800語(英語)で要約した業績概要を記載すること。

5. 受賞候補者の研究経歴、公職歴、受賞履歴

年 月 日	所 属 ・ 職 名	研 究 テ ー マ

- ・ 受賞候補者の最終学歴から現在までの研究経歴について記載すること。
- ・ 公職歴、受賞履歴がある場合は記載すること。
- ・ 「研究テーマ」欄について、最終学歴の行に、就学中に専攻していた分野を記載するとともに、その後に携わった研究テーマをそれぞれ「所属・職名」に対応するように記載すること。
- ・ 学位取得の時期・大学名・テーマを必ず明記すること。

6. 推薦研究機関組織概要

--

- ・ 推薦研究機関の組織の概要を記載し、組織の資料（パンフレット等）があれば添付すること。

7. 推薦理由

--

- ・ 推薦研究機関が推薦する理由を、200語以内（英語）で記載すること。

8. 業績の特徴

8-1. オリジナリティ

--

- ・ 業績の内容が、従来の概念にとらわれず、オリジナリティがあることを200語以内（英語）で記載すること。

8-2. 研究の成果

--

- ・ 200語以内（英語）で記載すること。

8-3. 普及・実用化への取組

・業績の内容が、普及・事業化を見据えて取り組んでおり、関係者と連携（実証試験を行う、実需者の評価を受ける等）して進めていることを200語以内（英語）で記載すること。

8-4. 将来期待される社会的インパクト

・業績の内容が、将来的に発展が期待されること、革新的な技術・手法等につながること等の期待される社会的インパクトについて200語以内（英語）で記載すること。

8-5. 前回の応募時から特に進展があった内容（過去に同じ業績内容で応募した場合）

・200語以内（英語）で記載すること。

9. その他の情報

9-1. 現時点で行っている研究テーマ

・200語以内（英語）で記載すること。

9-2. 8に記載された業績以外の主要研究テーマ

・200語以内（英語）で記載すること。

9-3. 日本との関わり

・業績の内容が、日本の試験研究機関又は日本人研究者との間で、研究の推進上連携して成果を上げてきたもの又は、日本が推進している研究開発に直接又は間接に寄与するものである場合、リファレンス・パーソンの情報を含め200語以内（英語）で記載すること。

10. 推薦研究機関の代表者の確認

若手外国人農林水産研究者表彰 選考委員長 宛

私は、この書類を作成し、候補者〇〇〇〇を2022年若手外国人農林水産研究者表彰に推薦いたします。

サイン

氏名

機関名

職名

日付